

housing digest

Vol.245

28.8.20

homes maruho 家ホームズ マルホ

リフォーム売上高・大手10社平均5%増

— 2015年度 業界新聞記事 —

大手リフォーム会社10社の2015年度決算は、売上高の平均伸び率は5.8%、2014年度は0.7%減だった。

多くが下期に消費増税の反動減から回復してきている、トップ3社は足踏みが続いている。

首都圏マンション市場動向

— 上向きの兆し —

3月の首都圏マンション市場動向によると、新規発売戸数は前年同月比4.0%減の4,457戸で、3ヶ月連続の減少となった。

現状では、消費税増税前の駆け込み需要の反動が続いているのに加えて、不動産各社が物件所上昇で発売時期を先送りしたことも影響している。

一方、契約率は79.6%と、好不調の目安とされる70%を5ヶ月連続で上回っており、「ここにきて上向きの兆しが見えている」としている。

マイホーム志向のアメリカ人

— アメリカ人の生活様式のアンケート調査 —

1) 大多数のアメリカ人は家族と一緒に夕食をとる。8割の人が、前日家族と一緒に夕食をしたと、回答している。一週間のうち7日間とも全て家族と一緒に夕食をとった人が46%、同じく5~6日間で21%に達している。

2) 家族との夕食に対する価値観は大きい。

74%の人は家族との夕食を非常に重要であると答えている。アメリカ人にとって食卓は意思疎通のための貴重な場である。

3) 夕食ではテレビより対話が重んじられる。

夕食時にテレビを見る事を禁止している家庭もある、56%の人は夕食時に話をし、テレビを見ない。

テレビを見ながら食事するのは15%しかいない。テレビは家族の対話の障害となると考えている。

4) 夕食をとる時間も早い。

76%の人は7時までに夕食をとる。

6時以前に食卓に就く人も30%いる。

5) 日米で大きく異なる生活価値観

アメリカ人は、会社組織よりも家庭に帰属意識を持つ。家庭を大切にすることが社会的使命であるとの倫理観が強い。経済力や国威が衰えても、アメリカ人は心のよりどころを家庭という最も小さなコミュニティに求めることができる。

マイホーム購入で満足度は何点ですか

— 業界新聞記事 —

住まいは、人生で一番高価な買い物のひとつで、実際に自宅を購入した人はどんな感想をもっているのでしょうか。

マイホーム購入で「人生が楽しくなった」が70.3%と高い数値がでました。

「後悔している」はわずか8.5%、また、幸福度について何パーセントアップしましたか、という質問に平均で52%と購入前に比べ1.5倍も幸せを感じる事が分かりました。

楽しくなった事は”自宅に帰る事”が60.6%、”インテリアを見る事”が51.4%、”休日自宅で過ごす事”が48.9%、”自宅を掃除する事”が37.6%でした。

木造4階戸建て初の100棟超

— 2015年度、前年度比12倍 国土交通省 —

2015年度の木造3階建て戸建住宅が前年度比0.8%増の2万4227棟と微増ながら2年ぶりに増加に転じた。

06年10月から建築可能になった木造4階建て戸建住宅は259棟と初めて100棟を超え、14年度の21棟から大きく増加した。

大工の賃金が上昇鈍化

— 先行き不透明感が原因か 業界新聞記事 —

2015年の大工の賃金は総じて前年比増を継続したが、その伸び率は昨年より鈍化した。

全国建設労働組合総連合会（全建総連）と全国にある傘下の組合が実施し、15年12月に発表した賃金実態調査から、この様なことがわかった。

対前年の上昇額が14年実績より小さいのは、景気の先行き不透明感が事業者賃上げ意欲を低下させているからだ。

●賃金を上げた事業者の割合

